

Language School ~航~ 夏期講習2018

- 夏期講習期間 7月16日(月)～8月30日(木)(7月16日から1週間は復習・下記準備期間に当てます。夏期講習をお申し込みの生徒に無料で行います。)
- 大学受験コース Foundation(文法)、Top(長文読解)、Over the Top(難関大長文読解)のレベル・内容などは通常授業と同様になります。
- 夏期中の土曜日の TOEFL・TOEIC の授業は、通常授業と同様に隔週で行います。TOEIC・TOEFL の夏期特別講習はありません。夏期に TOEIC・TOEFL を受講希望の場合、通常授業に参加していただくか、個別にご予約を賜ります。
- 基本として日曜日、8/13-16日はお休みとさせていただきます。
- 都合により来られない日がある場合、事前にご相談下さい。事前にご相談いただいた場合は、振り替え授業を行わせていただきます。当日、欠席の場合は、振り替え授業は行えない場合があることをご了承下さい。
- 受講生は、教室に空きがある場合、夏期期間中の自習や飲食が教室にて可能です。夏期中の勉強にお役立てください。

夏期開設講座

- ・ 大学受験講座
- ・ 中高生(中1～高2)講座
- ・ 英検対策(1級～3級)講座

<個別予約対応>

- ・ 小学生(英・国・算)
- ・ TOEFL
- ・ TOEIC
- ・ 中高生(英語以外の教科。ただし、英語夏期講座を受講の方のみ)

お申し込み方法

<夏期開設講座の場合>

当校にご来校の上、申込用紙にご記入いただき、料金を添えて申し込みをして下さい。

<予約対応講座の場合>

事前にお電話かメールにてご連絡ください。学年・受講希望教科・予定などを伺います。
受講希望日は、大まかなものでも構いません。

お問い合わせ先 TEL 03(3590) 5056 E-mail lsw@lswataru.com

窓口申し込み受付時間 (~7/22) 16:00-20:00 (7/23~) 13:30-20:00

※上記時間外の受付ご希望の場合は、事前にお電話ください。

大学受験講座

講座1 Foundation+Top	時間・コマ数	受講料金
①7/23(月)－26(木) 18:30－21:40	90分×8コマ×4日	30,000円(税込み)
②8/20(月)－23(木) 18:00－21:10	90分×2コマ×4日	30,000円(税込み)
講座2 Over the Top		
①7/30(月)－8/2(木) 18:00－21:10	90分×2コマ×4日	30,000円(税込み)
②8/27(月)－30(木) 18:00－21:10	90分×2コマ×4日	30,000円(税込み)
講座3 現代文		
7/30(月)－8/2(木) 14:30－17:40	90分×2コマ×4日	30,000円(税込み)

注1) 大学受験講座1, 2, 3, 4を受講した場合、5(現代文が)半額(¥15,000)になります。

注2) 大学受験講座1, 2, 3, 4を受講した場合、自由英作文対策が無料で受講できます

講座1 ① Foundation(英語の基礎)をつくる文法・語法・構文

★文法・語法・構文★

文法の規則・語法・構文をただ覚えるだけではなく、

しっかりイメージ/理解できるようにしたうえで、英語の基本形をマスターしてもらいます。

「バラバラの情報が思わぬところにつながっている!」、

「こんな風に考えたり、イメージすると納得できるんだ!」

ということを理解してもらいながら英語そのものの楽しさを感じてもらいます。

理解したら、次は吸収・反射一緒にがんばりましょう!

この講座では文法項目(不定詞、動名詞、分詞、関係詞、接続詞、仮定法中心)ごとに重要事項からチェックしていきます!

講座1 ② Foundation(理性と感性をフル活用!もっと面白い英語の捉え方)

★文法・語法・構文★

前置詞、単語、熟語、文法実践問題(正誤判定+整序)

イメージ”を活用した前置詞の捉え方、使い方、接頭辞・語根・接尾辞から捉える英単語(ラテン語経由の単語の習得は学問をするなら必須です!)、イメージ・ストーリー重視の英熟語、文法チェック+書くための布石としての正誤判定。文の組み立てを考える整序問題: これらに取り組んで、もっともっと英語を面白くしちゃいましょう!

講座2 ① Over the Top への長文読解 Part I

対象 東大、京大、外語大、早慶上智、医大合格を目指し、なおかつ、大学生になって英語を学術で使っていくんだ! (Academic Englishとして) という人! 向けの講座です。欧米の大学に留学した場合に Reading で対応できるレベルまで行きましょう!

内容 基本として過去問の中でハイレベルなもの(文体、内容ともに)を扱います。近年の難関大の長文化(大問一つ1500単語以上、さらに英問英答)にも確実に対応できる力を身につけていただきます。多角的に(英単熟語・文法・構文・論の展開・内容)素材を無駄にせず分析し、さらに吸収していきます。

講座2 ② Over the Topへの長文読解 Part II

早慶上智、東大、京大 恐るに足らず！自由英作文/論述対策もします！

留学時代、ドクター専攻の学生に手ほどきをしたほどの中山航代表ならではの講座です。

受講生には **discourse analysis [logic(論理) /rhetoric(修辞法: どう相手を説得するか、論/主張を展開するか)]** を駆使し、**文章を正確に早く深く理解する方法を習得してもらいます**。その結果、一般的に考えられる長文の理解とはワンランクもツーランクも上のレベルに達することが可能です。

- ◎ この内容理解を経た日本語訳と、そうでないものとは天と地ほどの差が見られます。日本語訳にしたから分かるのではなく、**解かるからしっかりとした日本語にすることが出来る**ということを実感してもらいます。
- ◎ また、**早慶上智を中心とした長文読解問題において、選択肢がどう作られているかも、しっかり教えますので、受講生は自信を持って解答することが可能となるでしょう。**

『今』やっていることをいかに『未来』へと繋げていくのか、また、『未来』を見つめれば、『今やるべきこと』が見えてくることを伝えます。迷うことなく、夏の終わりは、他では得られない境地 “Over the Top” で締めましょう！

自由英作文 (Academic Writing の基礎) (大学受験講座 1, 2, 3, 4 を受講の場合、無料)

- ◎ さらに、上で述べた **logic/rhetoric** を駆使することで、**自由英作文(基礎的な academic writing)** をどう書けばいいのかが解ってきます。大変そうだからと言って後回しにしていたら、いつまでたっても書けませんよ！英語らしい英文を書きたいけど日本人的発想から抜け出せないという方にもおいしい講座です。同じ専攻の English native speakers も教授も感心した writing の魂 技術を伝授します。『**reading の魂は writing に通ずる**』というところをお見せ致します。

講座3 現代文(論理的思考、読解強化)

論理的に英語を読み、理解することは、当然のごとく、日本語で書かれた評論文・論説文を論理的に読み理解することに役立てられます。また、その逆、**母語である日本語をうまく扱うことができれば、英語もうまく扱える道が切り開ける！**と私たちは考え、今年度より現代文・小論文の授業を行うことにいたしました。日本語・英語といっても、問題の作り方、解答へのプロセスなど同様の発想を使うことができます。

カナダのバイリンガリズムの成功は、移民たちに家庭での母語の使用を解禁したことが大きな要因だったといわれています。(家庭内でも、英語あるいはフランス語、つまり公用語のみを使うことが義務付けられていた時代では、移民の子どもたちの多くが落ちこぼれてしまっていたそうです。)

英語フランス語を第2言語とする生徒たちも、母語を通して、知的能力、認知能力を高めることで、英語・フランス語で行なわれる学校の授業でも成功を収めることができるようになったのです。つまり、私たち日本人も母語である日本語をうまく扱えなければ、他言語において、知的能力の伸びの限界がすぐに訪れてしまうと考えられるのです。

一見別の科目に見えてしまう現代文と英語(特に長文読解)を、同様のものであると分かれば時間をもっと有効に使えるとは思いませんか？

ぜひとも、英語の長文読解と合わせて受講下さい！新しいものの見方、考え方が生まれるはずですよ！

講座2、講座3ともに

- ①英文・現代文を Logic/Rhetoric に従い（論理/論の展開をとらえて）読む訓練をします。
 - 一文一文が分かるからつながる、理解できるだけではなく、むしろつながりが分かるからこそ、一文一文の役割、さらには全体も理解できるということを体現してもらいます。
 - パラグラフ内の展開だけでなく、パラグラフ外つまり、パラグラフとパラグラフの関係、もしっかり見ていきます。緻密につくられていることに気づいてもらえれば、緻密に読むきっかけとなります。
- ②問題作成の仕方（例：パラフレーズ、矛盾、ずらし、記述なし）を理解してもらい、それをベースに正確にしかもすばやく解答していく練習をします。
- ③配列、内容ともに練り練ってテキストを作っています。さまざまな発想、考え方、知識、知恵、いろいろなものを英語を通して学んでいきます。

Foundation+Top ①と②は別の授業です。

Over the Top ①と②も別授業です

①は7月分の授業を、②は8月分の授業をそれぞれ短期に集中的に行うものとお考えください。